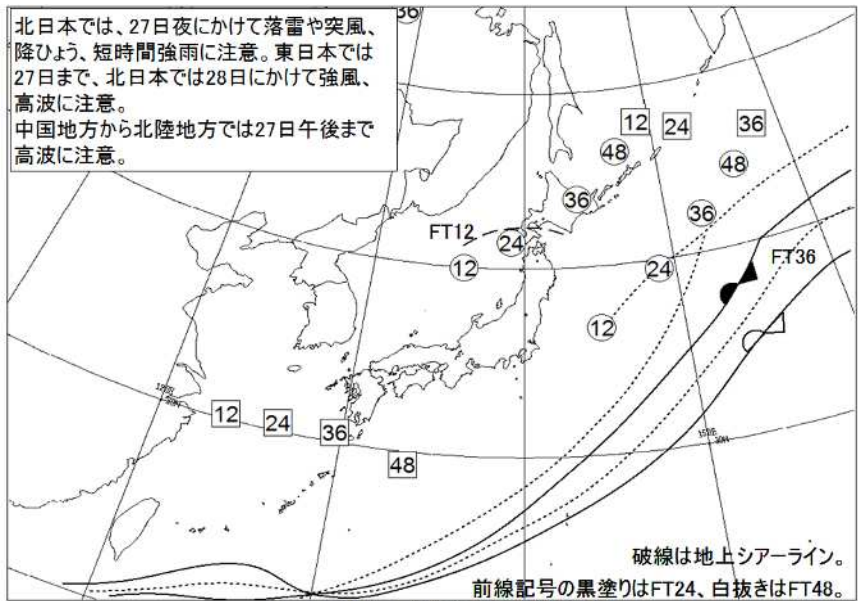


1. 実況上の着目点

①日本海に 500hPa5460m 付近、 -21°C 以下の寒気を伴う寒冷渦があって、ゆっくり東北東進。直下には地上の低気圧があって、ゆっくり東北東に進んでいる。低気圧の周辺、及び低気圧から東にのびる地上シアライン近傍では対流雲が発達し、発雷も検知している。東日本・北日本では 5～18mm/h の降水を解析。

②関東の東海上に前線を伴った低気圧があって、東北東に進んでいる。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

①1項①の寒冷渦は日本海をゆっくり東へ進み、27日夜には渡島半島付近、28日夜には千島近海へ進む。寒冷渦の東進に伴い、東日本・北日本の上空には500hPaで -15°C 以下の寒気が流入。27日午後には寒冷渦の接近に伴い、北日本の上空に500hPaで -21°C 以下の寒気が流入し、大気の状態が不安定となる。1項①の低気圧からのびるシアラインは北日本の日本海側を27日朝にかけて北上する。低気圧は27日夜には渡島半島の南西海上へ、28日朝には北海道オホーツク海側へ進む。北日本では27日夜にかけて、落雷や突風、降ひょう、短時間強雨に注意。局地的な激しい雨による大雨に留意。27日の日中、東日本の山沿いでは気温が上昇し、甲信地方に熱的低気圧が形成され、地上風が収束しやすくなる。27日午後は東日本の山沿いでも、落雷や突風に留意。1項①の低気圧の周辺にあたる東日本・北日本では気圧の傾きが大きくなるため、東日本では27日まで、北日本では28日にかけて強風、高波に注意。

②1項①の低気圧の南側では、吹送時間の長い西よりの風が続くため、中国地方から北陸地方では、27日午後にかけて高波に注意。

③28日午後に500hPa5640～5700m付近のトラフが東日本・東北地方を通過し、東日本の上空には500hPaで -15°C 以下の寒気が流入する。28日昼過ぎから夕方にかけて、東日本の山沿いでは大気の状態が不安定となるため、落雷や突風、短時間強雨に留意。次第に東シナ海から日本の南に進む高気圧に覆われるため、27日は西日本を中心に、28日は西日本・東日本の広い範囲で晴れる見込み。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場は最新GSMを基本とし、風や雨の予想はMSMを参考にする。

4. 防災関連事項 [量的予報と根拠] ①大雨ポテンシャル(06時からの24時間)：高い所(100mm以上)はないが、2項の短時間強雨に注意。②波浪(明日まで)：中国・近畿・北陸・東海3m。③高潮(明日まで)：大潮の時期。西日本や北日本太平洋側で注意報基準超過の所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表予定なし。